学校番号	216

平成 31 年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	改訂版　最新「数学Ⅱ」（数研出版）《継続使用》						
副教材等	プラクティスノート数学Ⅱ（数研出版）《継続使用》						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

数学の学習方法は、以下の３つです。

①毎時間の授業を大切にし、ノートをしっかりとる。
　⇒ノートは１番の参考書です。復習するときのことを考え、途中の計算を丁寧に書きましょう。
②例題を真似するところから始める。
　⇒例題は基本的な問題の集まりです。解けるようになるまで、暗記する程に繰り返し学習しよう。
③よく分かっている人に質問しよう。聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥
　⇒自分で考えて、どうしても分からなかった場合は、すぐによく分かっている人（先生、友人等）に質問し１つ１つ解決しておこう。

2　学習の到達目標

1，２学年で学習した内容を復習しながら、基礎的な内容を理解し、応用に発展させることができる。さらに、理解の実態を見極め、小テスト・課題などで学力の定着をはかることができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	指数・対数関数、微分・積分に興味をもつとともに、それらを活用し数学のよさを認識している。	物事を数学的に考察し、多面的、発展的に考える事が出来る。 数学的なものの見方を身につけており、それにより物事を判断し、思考を論理立てて説明する事が出来る。	基礎的な計算力、数学的な処理力を身につけている。 総合的な問題に取り組み解決する事が出来る。	指数・対数関数、、微分・積分についての概念や定義を理解している。
評価方法	授業中の取組み 問題への取組み 問題集等の提出状況 小テスト ５回の定期考査	授業中の取組み 問題への取組み 小テスト ５回の定期考査	授業中の取組み 問題への取組み 小テスト ５回の定期考査	授業中の取組み 問題への取組み 小テスト ５回の定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期中間	6章 微分と積分 1節 微分係数と導関数	①平均変化率	○			○	a:微分係数・導関数に興味・関心を持てている b: 微分係数・導関数の内容から、さらに発展的に考察できる c: 微分係数・導関数を正しく利用し、値を求めることができる d: 微分係数・導関数の原理・概念を理解できる	授業中の取組み 問題への取組み 問題集等の提出状況 小テスト ５回の定期考査
		②微分係数		○	○			
		③導関数	○			○		
		④導関数の計算		○	○	○		
1学期期末	6章 微分と積分 導関数の応用	①接線の方程式			○	○	a:微分と関数のグラフや値の変化に興味・関心を持てている b:関数のグラフと微分の学習内容から、さらに発展的に考察できるか c:微分法を利用し、グラフの様々な特徴を求めることができる d: 微分と関数のグラフの原理・概念を理解できる	授業中の取組み 問題への取組み 問題集等の提出状況 小テスト ５回の定期考査
		②関数の増減	○	○				
		③関数の極大･極小			○	○		
		④関数の最大･最小		○	○	○		
		⑤方程式･不等式への応用		○	○	○		
2学期中間	6章 微分と積分 2節　積分	①不定積分	○		○	○	a:積分・不定積分に興味・関心を持てている b: 積分・不定積分から、さらに発展的に考察できる c: 積分・不定積分を正しく利用できる d: 積分・不定積分の原理・概念を理解できる	授業中の取組み 問題への取組み 問題集等の提出状況 小テスト ５回の定期考査
		②定積分	○		○	○		

2学期期末	6章 微分と積分	②定積分	○		○	○	a: 定積分に興味・関心を持てている b: 積分法から、さらに発展的にグラフとその面積について考察できる c: 定積分を正しく利用し、面積を正しく求めることができる d: 定積分の原理・概念を理解できるか	授業中の取組み 問題への取組み 問題集等の提出状況 小テスト ５回の定期考査
		③定積分と面積		○	○			
3学期	5章 指数関数と対数関数	①指数関数		○	○		a: 指数･対数の法則や意味に興味・関心を持てている b: 指数関数･対数関数の学習内容から、さらに発展的にグラフ等を考察できる c:指数・対数の内容を正しく理解し、利用して解答を導くことができる d: 対数･指数の学習内容の原理・概念を理解できる	授業中の取組み 問題への取組み 問題集等の提出状況 小テスト ５回の定期考査
		②対数関数		○	○			

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b: 数学的な見方や考え方
c: 数学的な技能　d: 知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。